

稲作情報 (Vol. 1)

平成30年6月6日
 宮城県石巻農業改良普及センター
 石巻地方米づくり推進本部
 TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

～基本技術の徹底を～

4～5月の気象経過

- ◎ 気温は、4月初めから高めに経過し、月平均気温は平年と比べて、4月が+2.0℃、5月が+1.5℃と、高くなりました。
- ◎ 日照時間は、4月、5月ともに平年比96%となりました。
- ◎ 降水量は、4月は雨の降らない期間がしばしばあり、平年比49%と少なくなりました。5月は上旬にまとまった降雨があったこともあり平年比133%と多くなりました。

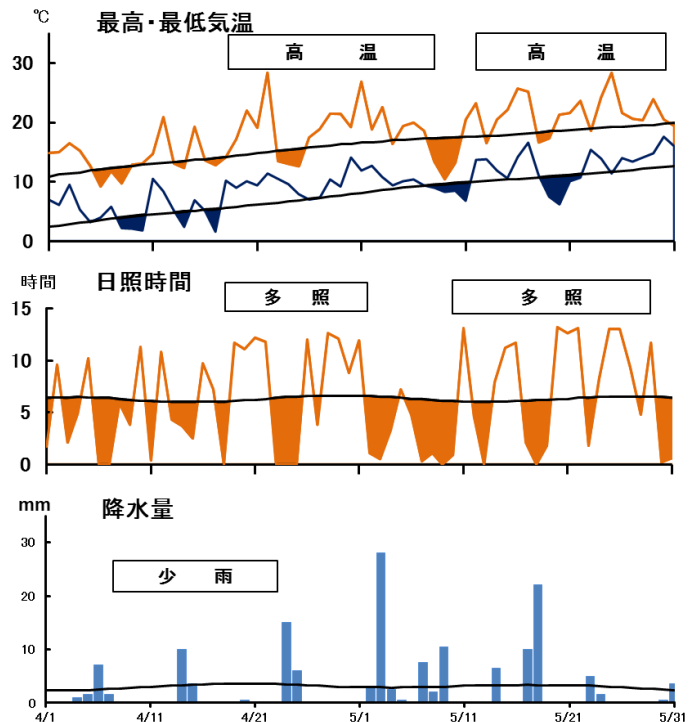


図1 4月以降の気象経過(アメダス石巻)

田植概況

- ◎ 田植時期に好天が続いたため、平年並みに田植作業が進みました。
- ◎ 管内の田植盛期は5月11日で、平年より2日遅くなりました。また、県全体の田植盛期は、平年並の5月11日になりました(表1)。
- ◎ 田植以降、天候が安定していることから、活着は概ね良好です。

表1 田植えの進行状況

項目	始期 (5%)	盛期 (50%)	終期 (95%)
石巻管内	5月3日	5月11日	5月20日
前年差	同日	1日遅い	同日
平年差	1日遅い	2日遅い	1日遅い
宮城県	5月3日	5月11日	5月22日
前年差	1日早い	同日	1日遅い
平年差	同日	同日	1日遅い

※管内の平年値は過去5年間の平均値。県全体の平年値は、最大・最小値を除く過去10年間の平均値。

水稻の生育状況

- ～ 草丈、茎数は平年並で葉数がやや多い傾向 ～
- ◎ 草丈は、23～26cmでほぼ平年並になっています。
- ◎ 茎数は、ほ場によって差はありますが、ほぼ平年並みになっています。
- ◎ 葉数は、平年と比較して+0.2～+0.6枚で、やや多くなっています。

表2 生育調査ほの調査結果(6月1日現在)

品種	調査ほ場	移植日(月/日)		草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉数(枚)					
		前年差(日)	平年差(日)	前年比(%)	平年比(%)	前年比(%)	平年比(%)	前年差(枚)	平年差(枚)				
ひとめぼれ	石巻市広瀬	5/5	0	0	23	98	86	116	102	95	6.3	-0.1	0.0
	東松島市小松	5/5	-1	-1	24	107	106	150	78	100	6.3	0.4	0.3
	平均	5/5	-1	-1	23	103	96	133	87	98	6.3	0.1	0.2
ササニシキ	石巻市桃生町寺崎	5/10	-2	-5	28	80	112	94	103	90	5.8	-0.5	0.8
	石巻市井内	5/8	+1	-1	23	101	90	100	101	114	5.9	0.4	0.4
	平均	5/9	-1	-3	26	87	100	97	102	101	5.9	-0.1	0.6

※平年値は過去5か年平均。

除塩ほ場(復旧1作目)の生育状況

～ 塩害等の障害はみられず、生育は概ね順調 ～

- ◎ 本年度は、石巻市で1ほ場、東松島市で1ほ場の計2ほ場で除塩後作付1作目の生育状況を調査しています。
- ◎ 田植日が5月中旬・下旬と遅いため、生育調査ほ(表2)のひとめぼれと比較して、茎数・葉数ともに少なくなっています。
- ◎ 6月1日時点の土壌ECは、1ほ場で塩害の目安とされる0.3mS/cmをやや上回っています。

表3 除塩調査ほの調査結果(6月1日現在)

品種	調査ほ場	移植日(月/日)	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉数(枚)	土壌EC(mS/cm)
ひとめぼれ	石巻市長面	5/28	22.1	69	4.9	0.10
	東松島市洲崎	5/17	23.9	70	4.7	0.39

乾田直播栽培の生育状況

- ◎ 本年は、播種期以降適度な降雨があったため、前年のような土壌の乾燥による出芽不良は見らず、出芽は良好でした。
- ◎ 播種期以降の気温が高めに推移したため、出芽揃いが早まりました。



写真1 出芽状況
(5月22日)

表4 乾田直播普及展示ほの生育状況

品種	調査ほ場	年次	播種日(月日)	出芽揃日(月日)	苗立数(本/m ²)
ひとめぼれ	石巻市 桃生町寺崎	本年	4月3日	5月13日	119
		前年	4月1日	5月31日	93
		平年	4月18日	5月22日	120

※平年は過去5か年平均

だて正夢の生育状況

◎ひとめぼれと比べると、茎数は少なめです。

表5 だて正夢普及展示ほの調査結果(6月1日現在)

調査ほ場	年次	移植日 (月日)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)
東松島市 小松	本年	5/3	29	109	6.0
	前年	5/10	33	101	5.7
東松島市 小松	(参考)本年 生育調査ほ ひとめぼれ	5/5	25	150	6.3



写真2 だて正夢(6月1日)

今後の管理(移植栽培)

1 水管理

- ◎ 活着後は、地温が最も高くなる3cm程度の浅水で管理し、分けつの発生を促しましょう。なお、極端な低温が続くと予想される場合には、水深をできるだけ深めにし、イネを低温から保護しましょう。
- ◎ 生わらや牛ふん堆肥等の有機物を多用している水田では、気温の上昇とともに有機物の分解が盛んになり、イネに有害な硫化水素等のガスが発生しやすくなります。このような場合には、中耕や一時的に落水するなど土壌中に酸素を供給し、根の障害を防ぎましょう。
- ◎ 除草剤を使用する場合は、使用上の注意事項をよく読み、除草剤ごとに定められた使用時期、使用量及び適切な水管理に努めましょう。

2 いもち病対策 ～ 補植用残苗は直ちに処分を！～

- ◎ 県内で発生する本田いもち病の発生源のほとんどは「補植用残苗」です。補植用残苗は速やかに処分しましょう。
- ◎ 個人防除で葉いもち予防剤などを本田施用する場合は、田植時期の早い遅いにかかわらず6月15～20日頃に施用し、処理後7日間は落水しないようにしましょう。
(※JAいしのまき環境保全米及びS基準では本田でのいもち病予防剤が使用できないので注意)
- ◎ 飼料用米や直播栽培など箱処理剤を使用していないほ場では、周辺ほ場の伝染源にならないよう、いもち病予防剤による防除を行いましょう。



写真4(左) ほ場の補植用残苗



写真5(右) 補植用残苗の葉いもち

3 害虫対策

- ◎ 今年のイネミズゾウムシの発生量はやや少なく、イネドロオイムシの発生量は少なく、発生時期はどちらもやや早いと予想されています(5月22日 県病害虫防除所発表)。

- ◎ イネミズゾウムシ、イネドロオイムシの防除対策は次のとおりです。
- <箱施用剤を使用した場合> 本田での防除は必要なし
 - <箱施用剤を使用しなかった場合> 次の「要防除密度」により防除の実施を判断する
(※ JAいしのまき環境保全米及びS基準等では、使用できる農薬に制限があるので、防除を行う場合は、JAに相談願います。)

【要防除密度】

イネミズゾウムシ : 畦畔際2m程度の成虫密度100株当たり130頭(晩期栽培は70頭)

イネドロオイムシ : 成虫密度100株当たり25頭または
産卵最盛期の卵塊密度100株あたり80個

東北地方1か月予報

(6月2日から7月1日までの天候見通し)

平成30年5月31日 仙台管区气象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
[気温]	東北地方	20	30	50
[降水量]	東北地方	30	30	40
[日照時間]	東北地方	30	40	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
1週目	東北地方	10	10	80
2週目	東北地方	20	40	40
3~4週目	東北地方	30	40	30

<予報の対象期間>

1か月:6/2(土)~7/1(日)

1週目:6/2(土)~6/8(金) 2週目:6/9日(土)~15(金) 3~4週目:6/16(土)~6/29(金)

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限などを確認して、定められた方法を厳守してください。

最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターホームページ<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html> で確認できます。